

第 62 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 会長特別企画

「臨床研究法の時代に求められるチーム機能」

- 研究担当医師との連携 -

7月18日(土) 13:40~

1. 教育講演 (50分×3)

座長 国立病院機構 あきた病院 病院長 奈良 正之

講演 1) 「中央一括審査時代に医師、事務局が準備しておくこと」

東北大学病院 臨床研究推進センター 特任教授 高野 忠夫

2) 「臨床研究と被験者保護」～患者さんに研究参加をお願いする時、何が必要か～

京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 特任病院准教授 佐藤 恵子

3) 「COI マネジメント 臨床研究の透明化がもたらす未来」

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター

トランスショナル・メディカルセンター 情報管理・解析部長 小居 秀紀

2. 特別講演 (60分)

座長 東北大学病院 臨床研究推進センター 特任教授 高野 忠夫

「臨床試験不正はなぜ起こるのか」

講師 京都府立医科大学 大学院医学研究科 生物統計学

教授 手良向 聡

3. ディスカッション (30分)

座長 東北医科薬科大学病院 臨床研究推進センター

畑中 貞雄

水沼 周市

東北大学病院 臨床研究推進センター臨床研究実施部門

相澤 千恵

山形大学医学部附属病院 臨床研究管理センター

青山 賀子

東北医科薬科大学病院 臨床研究推進センター

遠藤 朋子

株式会社 EP 総合

佐藤 早苗